



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

できなかったところを「できる」ようにする取組を！！

4月19日（火）には、小6、中3を対象に全国学力・学習状況調査が実施されます。また、4月～5月には小4・小5、中1・中2を対象にみえスタディ・チェックが行われます。これらを活用して、各学年、児童生徒一人ひとりの学習内容の理解・定着状況を把握し、できなかったところを「できる」ようにする取組や授業改善を進めましょう。

できなかったところを「できる」ようにするために

- ◆ 全国学力・学習状況調査の自校採点結果やみえスタディ・チェックの結果から、「できているところ」「できなかったところ」を把握・分析し、何年生のどの内容でつまづいているのかを**学校全体で共有**しましょう。
- ◆ 明らかになった課題に対応した問題やワークシートなどを活用し、授業や朝の学習、補充学習、家庭学習等の活用場面で、**年間を通じて組織的、計画的に「できる」ようにする取組や早期からの授業改善**を進めましょう。
- ◆ その取組により、子どもたちがどれだけ「できる」ようになったか、**学習内容の定着を確認**しましょう。

前学年までの学習内容が確実に定着しているか確認

◎令和4年度全国学力・学習状況調査（実施日：4月19日（火））

○過去には以下の内容を問う問題が出題されています。

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活においても不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

◎令和4年度第1回みえスタディ・チェック（実施期間：始業式翌日～5月27日（金））

○主に基礎的・基本的な知識・技能や三重の子どもたちの経年課題を踏まえて出題しています。

令和3年第2回みえスタディ・チェックで改善が図られていない設問

どれだけ「できる」
ようになりましたか？

<小学校国語>

- ・学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんが中心に読むとよい段落を選択する
令和3年度第2回 正答率 74.2%
(過去(H29 全国学調)からの改善状況：-9.6 ポイント)

<小学校算数>

- ・四角形を3つの三角形に分けたときの、四角形の4つの角の大きさの和を求める式を書く
令和3年度第2回 正答率 37.5%
(過去(H28 第2回みえスタ)からの改善状況：-5.6 ポイント)

<中学校国語>

- ・傍線部「入っていた」の主語として、適切なものを選択する
祖母が つくった オムレツには チーズも 入っていた。
令和3年度第2回 正答率 34.6%
(過去(R3 第1回みえスタ)からの改善状況：-9.3 ポイント)

<中学校数学>

- ・ a が正の数のとき、 $a \times (-2)$ の計算の結果について、正しい記述を選ぶ
令和3年度第2回 正答率 70.3%
(過去(H27 全国学調)からの改善状況：-5.0 ポイント)

● 学校における全国学調、みえスタディ・チェックを活用した取組モデル ●

調査の実施

自校採点、分析、共有

早期からの授業改善 つまずきの克服

4月19日(火)

令和4年度 全国学力・学習状況調査

- ◆対象学年
 - ・小学校第6学年
 - ・中学校第3学年
- ◆調査内容
 - ・国語
 - ・算数・数学
 - ・理科
 - ・質問紙

全教員で
採点

自校採点の実施

- 全国学力・学習状況調査○
「解説資料」を参考に採点し、
解答類型を判断
- みえスタディ・チェック○
記述式及び一部の短答式・拡大版については、「教師用解説資料」に従って採点し、解答類型を判断

集計結果の入力

(みえスタディ・チェックは5月27日(金)までに)

S-P表の活用

S-P表を活用し、重点的に指導すべきと考えられる問題を明らかにし、授業改善につなげましょう。

対象学年担任や対象教科担当だけでなく、課題を学校全体で共有し、各学年の指導に生かしましょう。自校採点における設問ごとの結果状況から、何年生で学習する内容でつまずいているのかを分析し、授業改善に活用してください。

明らかになった課題への対応と定着状況の把握

- ◆課題に対応したワークシートなどを活用し、授業や朝の学習、家庭学習等の活用場面で、**年間を通じて組織的、計画的に「できる」ようにする取組や早期からの授業改善を進めましょう。**
- ◆その取組により、どれだけ「できる」ようになったか、**学習内容の定着を確認しましょう。**

始業式翌日～5月27日(金)

令和4年度第1回 みえスタディ・チェック

- ◆対象学年
 - ・小学校第4、5学年
 - ・中学校第1、2学年
- ◆調査内容
 - ・国語
 - ・算数・数学
 - ・理科(小4を除く)
 - ・質問紙

CBTシステムの活用を！

CBTシステムでできること

- ◆児童生徒は、**実施後すぐに**、学習端末で**正解、不正解を確認**することができます。
- ◆**正解の場合**はもう一歩進んだ問題を、**不正解の場合**は学習内容を遡った問題が、各自の学習端末に提供されます。
- ◆先生は、**実施後すぐに**、児童生徒一人ひとりや、学級の強み・弱み、経年比較、どの問題でどれぐらいの児童生徒がつまずいているのかを把握することができます。



● 令和4年度全国学力・学習状況調査の実施にむけて ●

子どもたちが力を精一杯発揮できるよう、実施体制等を整備・確認し、円滑な実施をお願いします。

令和4年度

- ・全国学力・学習状況調査 調査マニュアル
- ・全国学力・学習状況調査 調査マニュアル【教室監督者用】

調査(実施)前

- ★最後まであきらめずに、がんばって解答すること
- ★計算や下書き等は問題用紙に書き込んでもかまわないこと
<調査マニュアル小学校 P.20～P.21、中学校 P.24～P.25 参照>

子どもたちに
伝えてください!!



調査(実施)中の確認

- ★問題用紙に解答(回答)を記入している児童生徒がいた場合は、**解答(回答)用紙に記入**するよう指示してください。
- ★解答(回答)欄の場所を**間違えずに記入**しているかを確認し、適宜、指示してください。
- ★解答をあきらめているような児童生徒には、**できるところから解答を試みる**よう、適宜、指導してください。

<調査マニュアル小学校 P.22～P.24、中学校 P.26～P.29 参照>

●●● 令和4年度 教職員研修の取組紹介 ●●●

「講義＋公開授業」で授業力の向上を目指します

講義で学んだことを実践に活かすために、夏に「講義」を受講、2学期以降にその内容を実践し、「公開授業」を行う「組み合わせ研修」を令和4年度も実施します。

令和3年度受講者の声

- ・ 講義で学んだ内容を**実際の授業で実践することで、発問や授業の進め方について具体的に学ぶことができたので**勉強になった。
- ・ 研究協議と公開授業は**授業力向上に非常に効果的**であると実感できました。

例：小学校国語研修（講義） 夏季休業中
小学校国語研修（公開授業） 2学期以降

講義＋公開授業を組み合わせる講座

小学校国語研修 ・ 中高国語研修
小学校算数研修 ・ 中学校数学研修
小中学校英語研修 ・ 高校英語研修
小中学校社会研修

各教科の講義と公開授業のそれぞれの講座に申し込みが必要です。

夏季教科研修の見逃し配信を行います

忙しくて参加できなかった「この研修」、「あの研修」はありませんか？
「後で研修動画を見ることができたらなあ…」

そこで！

- ★ 該当研修の配信日時等は、後日、総合教育センターWeb ページで案内します。
- ★ 配信は、Web 会議システム（Zoom）により行います。
- ★ 配信日以外に校内研修等で視聴することもできます。お気軽にお問い合わせください。



【担当】 三重県教育委員会事務局研修推進課 教科等研修班 TEL 059-226-3572

放課後60分で学ぶ！タブレット端末活用研修

GIGA スクール構想により、県内の小中学校等では1人1台端末（タブレット端末）の環境が整備されました。令和3年度、研修推進課では端末の効果的な活用を推進するため、1人1台端末活用推進者育成研修を行いました。

その受講者の声をもとに令和4年度は、ICT 活用指導力のさらなる向上を目指し、教員が参加しやすい放課後の時間で学ぶ遠隔研修を実施します。

放課後60分で学ぶ！タブレット端末活用研修

◆どんな研修？◆

毎月1回程度15:50～16:50に、県内でタブレット端末を効果的に活用している教員による活用ポイントの紹介と受講者同士の情報交流を行い、授業で使える活用法を学びます。

◆毎月のテーマ◆

5月 「まわりの学校はどう使ってる？タブレット端末の活用場面」
6月 「学習者用デジタル教科書（英語）とタブレット端末の使いどころ」
7月 「長期休業に向けて持ち帰りはどうする？」

具体的な活用場面を知りたい！

他の学校はどう活用してるの？

相談できる人がいたらなあ…

【担当】 三重県教育委員会事務局研修推進課 テーマ研修班 TEL 059-226-3659

【事例 4 7】多気町立外城田小学校

自分の思いや考えを楽しんで表現する子どもの育成 ～書く力を高める指導を通して～

外城田小学校では、学校教育目標「ひとみ輝く外城田の子」のもと、「考えること、学ぶことが大好きな子」・「自分のこと、友だちのことが大好きな子」・「外城田が大好きな子」をめざし、授業改善につながる校内研修を進めています。

● めざす子どもの姿とつきたい力

● 児童の実態把握からスタート！

授業中の様子から

書くことについて苦手意識を持っている児童が多い

全国学力・学習状況調査の結果から

「文章の的確な把握」や「正確な表現力」に弱みがある

例えば・・・
・鉛筆が進まない
・書き方が分からず戸惑っている 等

「書く力」に焦点化！

● めざす子どもの姿とつきたい力の設定

めざす子どもの姿

- ・自分の思いを、書いて表現することを楽しむ子ども
- ・書き方が分かり、自分で書けたことの達成感を持つ子ども

つきたい力

- ①自分の思いや考えを書く力
 - ・思いや考えを持つ
 - ・深める
 - ・整理する
- ②自分の思いや考えが伝わるように書く力
 - ・伝えたいことを意識して書く
 - ・目的意識と相手意識を持って書く
 - ・字数制限や条件にしたがって書く

● 普段から「書く」ことを位置づける

教科等横断的に「書く」機会と「発信する」機会を設けています。そうすることで、自分の考えを客観的に捉えることができ、表現力を高めることにつながります。

①「書く」機会の設定

- ・発表前に自分の考えを書く
- ・振り返りを書く
- ・日記や作文を書く
(国語教科書巻末「考えや気持ちを伝える言葉」(2～6年)に載っている言葉を用いて書く)

➡ 語彙を増やし表現力を磨く

②「発信する」機会の設定

- ・集会、避難訓練、学校行事などで全校児童が感想を交流し合う
- ・学級通信で児童の作文等を発信



すごいと思った。



リコーダーの音が響いて上手だった。

➡ 気づきや自分の思いを詳しく表現する

● プチ ICT 研修

校内研修会では、毎回 15 分程度、各学年が iPad の活用方法を紹介する等の ICT 研修を行っています。指導方法等の情報交換をすることが、子どもの書く力の育成につながるよう取り組んでいます。

● 全員で指導案を考える

研究授業の指導案を、全教職員が作成します。小グループに分かれ、それぞれが考えた指導案を交流・検討し、課題解決のためには、どんな手立てが必要かを考えます。そして、授業後はその手立てが有効であったか、協議によって明らかになった課題に対して改善策を話し合います。また、研修会後には、教職員一人ひとりが今後の指導の参考にしたいことを記録し、実践に生かしています。

★ 4 年生国語科「伝わる言葉」の研究授業では・・・

事前検討

<授業者>

<指導案の提案>
本時案のねらいやめあてを伝える。

<全教職員>

本時案を作成する。
本時案を持ち寄り、授業の組み立てや手立てについて協議する。



研究授業

<授業者>



事前検討での意見を参考にして授業者が指導案を再考し、授業を行う。

事後検討

<全教職員>

意見を付箋紙に書き、交流し、改善策を考える。



●●● 多気町立外城田小学校長からのコメント ●●●

研修の基本は、授業です。指導案を一人ひとりが考え、グループで話し合い、そして全体へ広げ、さらに深めていきます。まさに、子どもたちの学びの姿そのものが研修の中にあります。教職員が授業を基に繋がり、深め合う豊かな研修会が持ち味です。今後もさらなる高みをめざし、授業改善に取り組んでいきます。